

## 会 議 録

会議の名称	平成29年度第1回茨木市産業振興アクションプラン推進委員会 補助金審査部会
開催日時	平成29年4月19日(火) (午前・ <b>午後</b> ) 3時00分 開会 (午前・ <b>午後</b> ) 4時00分 閉会
開催場所	茨木市役所 本館8階 会議室
議長	野口 義文 氏 (立命館大学産学官連携戦略本部)
出席者	野口義文氏 (立命館大学 産学官連携戦略本部)、小牧義昭氏 (北おお さか信用金庫 総務部)、伊津田崇氏 (中小企業診断士)、辻田素子氏 (龍 谷大学 経済学部)、山田理香氏 (公募市民)  <span style="float: right;">【5人】</span>
欠席者	なし
事務局職員	徳永商工労政課長、武部商工労政課商工振興係長、 米田商工労政課職員 <span style="float: right;">【3人】</span>
開催形態	一部非公開
議題(案件)	(1) 会議の公開について (2) 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金趣旨説明 (3) 応募団体プレゼンテーション及び審査
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金募集要領</li> <li>・資料2 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業補助金の選考に ついて</li> <li>・資料3 茨木市地域魅力アップイベント創出育成事業 審査基準及び 配点表</li> </ul>

## 議事の経過

### 1 開会

事務局：(開会のあいさつ)

### 2 趣旨説明

事務局：(資料1、資料2、資料3説明)

### 3 会議の公開について

事務局：①本部会について

原則公開とし、市民等の傍聴を認める。ただし、申請案件の審査に関する部分は、非公開とする。(※茨木市審議会等の会議の公開に関する指針第3より)

②議事録について

公開部分については、市のホームページ等で公開する。ただし、内容は要約したものとし、個々の名前は記載しない。委員名簿は公開する。

③傍聴希望者：なし

### 4 応募団体プレゼンテーション及び審査

(1) 地域魅力アップイベント創出育成事業申請案件：

茨木音楽祭実行委員会（以下申請者）から事業概要及びアピールポイントについてプレゼンテーションがあった。

<質疑応答>

A委員：入場者数を見るとかなり集客力があり、過去8回実施してきた歴史の積み重ねと評価している。ただ、収支予算書を見ると、飲食の売上は天候に左右されることもあり、そこに頼るのは危険である。また、市の補助金を除くと2分の1以上を占める広告協賛費が重要になってくると思うが、今年は減少している。広告協賛費の今後の見通し、ターゲットはどのように考えているのか。個人の名刺広告など取り入れてみてはどうか。

申請者：飲食の売上は天候に左右されることは、2年前に雨天を経験して実感している。今年は地元の飲食店に声をかけ、出店料をもらうことにより、収入を確保できるようにした。また、協賛金については、(スタッフが本業の傍らボランティアで実施しているなかで)スタッフが転勤してしまったり、出世して本業で忙しくなったりしたことなどで、企業を回りきれなかったため、協賛金収入が減少してしまった。年々、協賛金を集めるのは難しくなっている。(来年で本補助制度の交付限度回数になるが)来年10回目を迎えるので、来年は規模を縮小せずに実施したい。11回目以降、補助金がなくなるのであれば、エリアを縮小し、クオリティをあげるなど事業規模を見直す必要があると考えている。

B委員：メンバーが高齢化しているということか、メンバーを募集して増やすことは考えているかを含め、実行委員会の体制はどうなっているのか。また、事業内容について、これまでと比べて新しい取り組みはあるか。この2点を説明してほしい。

申請者：メンバーについては、上は60代、下は大学生までいる。新規メンバーの募集はしておらず、現メンバーのつながりで広げている。主要な執行メンバーは数人で、実行部隊となるメンバーは数十人である。今年度の新たな取り組みはエリアの拡大及び、福祉文化会館で実施する吹奏楽の企画に力を入れている。誰でも参加でき、プロと同じ舞台に立つ経験をしてもらいたいと思っている。

C委員：10周年はやりたいと思うが、市の補助金もいつまでもあるわけではない。補助金が受けられなくなった場合の継続性について、どう考えているか。

申請者：まず、自分たちは「茨木」をPRし、盛り上げていきたいという思いで取り組んでいるので、行政としても名義貸しの後援だけでなく、支援を継続してほしいと思っている。今後は、会場を広げるのではなく、賛同者を増やして続けていきたいと考えている。

C委員：高槻ジャズストリートとのつながりはあるのか、どのような連携をしているのか。

申請者：日程が連続していることもあり、資材を共有している。また、ノウハウも共有している。

D委員：平成28年度の決算書と（資料4）自立化に向けた収支計画書とで繰越金額が一致しないが、なぜか。また、今年度、大阪府から受けている補助金の内容ならびにその補助金は今年限定なのかを説明してほしい。

申請者：大阪府の補助金は芸術関係の補助金で、今年限りである。

事務局：（申請書類に関することであるため、事務局から補足説明）

昨年度提出を求めていた決算書は平成25年度から平成27年度までの事業にかかる繰越金を記載するようになっており、一方、自立化に向けた計画書は第1回の実施からの繰越金を記載するようになっているため、金額が一致しない。

E委員：福祉文化会館の吹奏楽の企画は参加者の年齢制限はあるのか。

申請者：年齢制限はない。ワークショップは当日参加も可能である。

A委員：例年、ゴールデンウィーク期間中の開催であるが、近年は旅行に行く人が増えている。入場者数を増やす観点から、思い切って日程変更を試みようと考えたことはあるか。

申請者：検討したことはあるが、やはり天候が良い5月がいい。また、高槻ジャズストリートと同じ業者をお願いしているので、連続で実施することでコストダウンにもなっている。

A委員：過去に2日間実施していたこともあるようだが、1日実施にしているのはコストの関係か。

申請者：コストの関係である。

C委員：高槻ジャズストリートと相互に広報をしてはどうか。

申請者：1つのイベントにしていくのは難しいと思うが、高槻、吹田など近隣で類似の音楽イベントをしている団体もあるので、広報等、協力しあっていきたいと考えている。

## 【 審 査 】

## 5 審査結果

(1) 茨木音楽祭実行委員会 500点中 367点 ⇒ 採択案件

### <選考基準>

出席委員の評価点合計の65%以上を取得した事業を、採択案件の候補とする。

ただし、上記基準を上回る事業であっても、個人の総得点の1/2(100点÷2=50点)

以下の点数を付けた委員がいる場合は、協議のうえ採択候補案件を決定する。

以上